

カラスキバサンキライ



学名 Heterosmilax japonica

科名 ユリ

別名

区分 草本類

分布 鹿児島 (屋久島以南)、沖縄、
台湾、中国南部等

葉の形 卵形

葉の縁 全縁

葉の先 鋭形

葉の種類 単葉

葉の付方 互生

葉の基部 ハート形

実の種類 液果

花・萼色 淡黄色

説
明

林縁等に生える性の半低木で、茎にトゲはありません。葉は互生し卵形、長さ5-10 cmです。実は液果で球形、径8-10 mm、黒く熟します。葉が中国の唐の鋤刃に似ていることから名がついたといわれています。